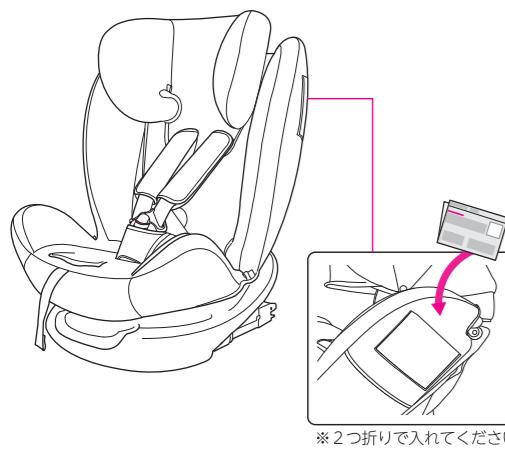


取扱説明書 保証書付

はじめにお読みください

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。安全のため、ご使用の前に必ず本書をお読みの上、記載された内容にしたがって正しくお使いください。
チャイルドシートは、交通事故などの際にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
この取扱説明書は、取扱説明書ポケットに入れて大切に保管し、必要に応じてお読みください。



ISOFIX固定式・ベルト固定式
チャイルドシート
型式/TYPE : C04401
ECE R44/04 Group 0+, I, II, III
SEMI-UNIVERSAL

リーマン株式会社 www.leanman.co.jp
〒496-0911 愛知県豊西市西保町南川原68-1
お客様相談室 TEL. (0567) 27-0173
受付時間 月曜日～金曜日 (祝日・弊社指定休日は除きます)
AM10:00～12:00 PM1:00～5:00

※2つ折りで入れてください。

表示マーク

この取扱説明書では、安全にご使用していただくため、特に守っていただきたいことなどを次のマークで表示しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

⚠️ 警告 記載内容を守らないと生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠️ 注意 記載内容を守らないと傷害または事故につながるおそれがあります。

🚫 禁止 図示されている内容の禁止を示しています。

⚠️ 確認 安全のため、必ず確認していただきたいこと。

💡 アドバイス より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいこと。

*製品には万全を期しておりますが、万一不適合な点がございましたら当社お客様相談室へご連絡ください。 *製品の性能向上のため、予告なく仕様を変更することがあります。

クイックガイド／目次

△ 事前準備

○ お車に取付ける

ISOFIX 取付け金具 + トップテザー固定		ISOFIX 取付け金具 + 車両シートベルト固定		メンテナンス	
お子さまの体重 ~13kg未満 年齢のめやす 15ヶ月以下		9~18kg以下 約9ヶ月~4歳頃		15~36kg以下 約3歳~11歳頃	
① 取付けの準備 ② チャイルドシートの取付け ③ 車両への固定 ④ お子さまの乗せ降ろし ⑤ 幼児ベルト位置の目安		⑥ お子さまを拘束する ⑦ 拘束ポイントを確認する ⑧ お子さまを降ろす ⑨ シートの取付け確認 ⑩ シートの取付け確認		① 取付けの準備 ② チャイルドシートの取付け ③ 車両シートベルトでの固定 ④ お子さまの乗せ降ろし ⑤ シートの取付けを確認する	
⑥ お子さまを拘束する ⑦ 拘束ポイントを確認する ⑧ お子さまを降ろす ⑨ シートの取付け確認 ⑩ シートの取付け確認		⑥ お子さまを拘束する ⑦ 拘束ポイントを確認する ⑧ お子さまを降ろす ⑨ シートの取付け確認 ⑩ シートの取付け確認		1 カバーを取りはずす 2 重要な注意すべき点 3 洗濯と日常のお手入れ 4 保管／廃棄の仕方／製品仕様 5 トップテザーの収納	

緊急時には… 衝突などの緊急時には、あわてず速やかにお子さまを救出してください。



バックルの赤いボタンを押し、タングをはずします。
幼児ベルトをお子さまからはずし、お子さまを救出してください。



バックルの赤いボタンを押しても、タングがはずれない場合はシートベルトカッター(市販品)などでベルトを切断してお子さまを救出してください。

△ 事前準備

1 適合の確認

ISOFIX 使用時の注意点

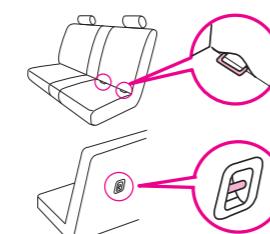
1.本装置はISOFIX取付け金具を装備した車両で使用するものとして、UN R44/04改訂シリーズに基づいて認可されていますが、一部の車両には取付け出来ない場合があります。

2.本装置はISOFIX型チャイルドシートの取付けを認められた座席のある車両に取付けが出来ます。

3.体重が13kg未満でトップテザー使用の場合は、車両の取扱説明書でISOFIXサイズ等級が「D」に対応しているか確認してください。(車両の取扱説明書参照)

ISOFIX 取付け金具 / トップテザーアンカーについて

1.ISOFIX取付け金具とはチャイルドシートを取付けるために、車両背もたれと車両座席の間に装備された金具(バー)です。



2.トップテザーアンカーとはトップテザーフックを固定する為に車両背もたれ等に装備された金具(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書を確認してください。

車両シートベルト使用時の注意点

●本装置は準用年少者用補助乗車装置です。本装置はUN R44/04改訂シリーズに基づいて認可されており、一部の車両には取付けできない場合があります。

●本装置は、認可された車両がUN R16または同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備している場合のみに適用しています。

●疑問がある時は、当社お客様相談室、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

シートベルトの種類と特徴	後向きの取付け注意点	前向きの取付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に入出力し、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出しして取り付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すと自動的に繋まり、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。シートベルトを一度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取付けてください。
その他	上記にあてはまらないシートベルト。	使用できません。

⚠️ 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。

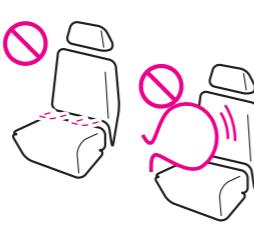
⚠️ 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないで下さい。本来の機能を果たさず、大変危険です。

2 取付けできないシート

適合が不明な場合は、購入店、取扱代理店またはメーカーまでご連絡ください。

取付けできないシート

● ISOFIX取付け金具が装備されていないシート。



●シートベルトの付いていない座席。

●2点式シートベルトの座席。

●座面の奥行きが43cm以下の座席。

●シートベルトのバックルが座面の中央寄りに付いている座席。

●車両バックルの位置が高すぎたり、低すぎたり本製品を固定できない座席。

●エアバグが装備されている座席。

(エアドライバグのみの場合は使用できます。)

●3点式シートベルトで上下取付け部が共に巻取り式の座席。

●パッセンジャーベルトのいた座席。

●車両進行方向に対し、後向きおよび横向きの座席。

(衝突の際にショックを吸収できません。)

●本製品を取付けた際に、運転席に支障を及ぼす車両座席、及び前部中央座席。(万一のとき乗員の安全が確保できません。)

●助手席に取り付けないでください。

●極端なゲットアップなどの座席。(取付けた本製品が安定しません。)

●座席の凹凸が極端で、取付けたときに不安定になる座席。

●その他、本製品を固定できない座席。

3 作業スペースの確保

安全に取付け作業をおこなうため、次のように作業スペースを確保してください。

●取付け作業は、ドアの全開閉操作が可能な、平坦な場所でおこなってください。

●車内の作業スペースを確保するため、前座席を前に倒したり、できるだけ前にスライドさせてから取付けてください。

●車両座席がリクライニングで倒れている場合は、標準の位置、または車両の取扱説明書で指示されている位置に戻してください。

9 ご使用上の警告／注意

⚠️ 記載内容を守らないと、生命の危機または、重大な傷害につながるおそれがあります。

●本製品は取扱説明書どおりに固定してください。

●お子さまの不安全な状況により、ベルトが首を巻きついてしまうおそれがあるため、必ず保護者が同乗し、使用してください。

●腰ベルトで骨盤がしっかりと拘束されるように、必ずベルトを低く下げて着用させてください。

●座席ベルトの状況などにより、取扱説明書どおりに固定できないときは、他の座席に取付けてください。

●本製品の「バックルははずしました」の使用は危険ですので絶対しないでください。

●後部座席に人が乗せる場合の2ドア・3ドア車の助手席や、1BOX車やミニバンのセカンドシート乗降口側には、緊急時の脱出用扉のため、取付けないでください。

●お子さまが、バックルの赤いボタンを押さないように注意してください。ときどきタングがバックルからはずれてしまうことがあります。

●衝突事例や製品を落としたなど、一度でも強い衝撃を受けた本製品は、外観に破損がなくても絶対に使用しないでください。

●本製品を保管する際には、強い衝撃を与えない、屋外など日光が当たる場所に長期間放置しないでください。

●本製品を改造したり、カバー類・クッション類を取りはずして使用しないでください。

●シートカバーをはずしての使用、または専用カバー以外での使用はしないでください。(衝突時の安全性に影響を与えるおそれがあります。)

●車の座席にフッショントapeを敷いたまま、取付けないでください。しっかりと固定されません。

●お子さまを車内にひりで放置することは絶対にしないでください。

●保護ベルトが首にかかると、事故等のときに圧迫されるおそれがあるため、肩ベルトの高さを、首にからないように調整してください。

●運転台各部分に貼り付けて、やけどのことを確認の上、お子さまを乗せてください。

●運転台各部分の操作(運転席・ペダル調節、角度調節などの操作)をしないでください。

●新生児(生後1ヶ月未満)にお使いいただく場合は、運転者以外に同乗者が乗り、自らはなしないでください。

●お子さまの負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

●エアバグ(装備)の使用はしないでください。

●エアバグ(装備)の使用はしないでください。

●シートベルトの負担を考え、1時間以上連続して使用しないでください。

●エアバグ(装備)の使用はしないでください。

お車に取付ける



お子さまの体重 ~13kg未満 年齢のめやす 15ヶ月以下

車の進行方向に対して「後向き取付け」で使用し、「ISOFIX取付け金具+トップテザー固定」または「ISOFIX取付け金具+車両シートベルト固定」の2通りの取付けができます。

見かた
トップテザー 車両シートベルト 「トップテザー使用」「車両シートベルト使用」共通説明
トップテザー 使用の場合 「トップテザー使用」の操作説明
車両シートベルト 使用の場合 「車両シートベルト使用」の操作説明

① 取付けの準備

トップテザー 車両シートベルト

*7kg以下の乳児(6ヶ月ごろまでは)[23:インナーパッド]をセットします。

Aシート下にある[9:角度調節レバー]の安全ロック[a]を引いてレバーを上げながら、角度調節の位置を△に移動します。

*工場出荷状態では前向き状態で、角度調節位置は「△」になっています。

B[10:回転レバー]を手前に引き、もう片方の手でシート本体を、座面がベースに対して逆方向になるように、左もしくは右に180度回して▲にします。

▲後向きのご使用は必ず△に合わせてください。

② チャイルドシートの取付け

トップテザー 車両シートベルト

A ISOFIX 取付け金具の位置を確認し、付属の[22:取付けガイド]を差し込む。

車両座席によって、取付けできない場合や必要な場合は、[22:取付けガイド]を使わずに取付けください。

B走行方向に対し後ろ向きに設置してください。

C[15:コネクタ操作ハンドル]の赤い部分[17:コネクタ解除ボタン][a]を押したまま、[15:コネクタ操作ハンドル][b]を押し[14:ISOFIXコネクタ]をスライドさせ引き出します。

D ISOFIXコネクタの両端を[22:取付けガイド]に挿入してください。「カチ」という音がして[16:ISOFIX接続表示]が緑色になっているのを確認します。

Eチャイルドシートが車両シートに密接するようにしてください。

▲取りはずし方 Cの操作[17:コネクタ解除ボタン][a]を強く押したまま、[15:コネクタ操作ハンドル]をISOFIX取付け金具から引き離してください。

⑨ (E) シートの取付け確認 トップテザーでの固定

① ISOFIX接続表示が緑色になっていること。
② トップテザーアンジケーターが緑色になっていること。
③ トップテザーフックと車両側のトップテザーホルダーベルト固定装置にしっかりと固定していること。
④ トップテザーベルトにねじれやたるみがないこと。
⑤ ベルトガイドに確実にかかっていること。

▲①～⑤を確認して、しっかり取付けられていない場合は、再度取付けをやり直してください。

③ 車両への固定

トップテザー 使用の場合

Aトップテザーを[12:トップテザーポケット]から取り出す。巻いてあるベルトをほどき約1mベルト長さを確保し、本製品の[11:ベルトガイド]の左もしくは右側に通し、車内の内側にあるベルトガイドを使うと車両ドアから乗せ降ろしができます。[21:トップテザーフック]を車両のトップテザーホルダーに固定してください。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

B車両のヘッドレストの下の隙間に通す。[21:トップテザーフック]を車両のトップテザーホルダーに固定してください。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

C車両シートベルトの上からインナーパッドを取り付け、バックルをロックします。

車両バックルの反対側の[11:ベルトガイド]に引っかけて車両のバックルで固定する。

▲重要：インナーパッドは6ヶ月未満のお子さまにお使いいただけます。

Aお子さまの両手を幼児ベルトに通し、二つの[5:ダング]を合わせバックルに差し込みます。「カチ」という音が聞こえればOKです。

B[8:アジャストベルト]を前に引くと、[4:幼児ベルト]を外しておき、引き出す車両ベルトを背もたれの後ろに回す。

C車両シートベルトの上からインナーパッドを取り付け、バックルをロックします。

車両バックルの反対側の[11:ベルトガイド]に引っかけて車両のバックルで固定する。

▲重要：インナーパッドは6ヶ月未満のお子さまにお使いいただけます。

A片方の手で[7:アジャストラバー]奥側を押ししながら、もう片方の手で左右両方(2本)の[4:幼児ベルト]を同時に前に引き出す。

B[6:バックル]のボタンを押して[5:ダング]を外し、[4:幼児ベルト]を広げる。

Cバックルがお子さまの股の間に収まるようにしてお子さまをシートの奥深くに座らせる。

▲おしゃりとクッションの間に隙間が出来ないように深く座らせて下さい。

Aベルトの受け付けは、インジケーターが緑色になるまで引っ張ってください。締めすぎるとお車のシートを傷めますので引き過ぎないでください。(インジケーターは取付け始めやすくなります)。

●ベルトはねじらないでください。●ベルトが緩んでるときは張り直してください。

▲回転時の注意点

A●チャイルドシートを回転して戻した時はベルトが元のように戻っていることを確認してください。●車両ヘッドレストをはずした時はベルトが車両シートの端からズレ落ちないように注意してください。●チャイルドシートを回転させた時はベルトが緩みます。お子さまの不安定な行動により、ベルトが腕や首に絡んだりはさせられないので注意してください。

●お子さまを乗せ降ろしをするための回転は90度の位置でおこなってください。それ以上回るとおそれがあるり変危険です。お子さまを乗せたあとでは、必ず後ろ向きの状態に戻してください。

(表面、△事前準備/△シートの回転の仕方: A)参照

A片方の手で[7:アジャストラバー]奥側を押ししながら、もう片方の手で左右両方(2本)の[4:幼児ベルト]を同時に前に引き出す。

B[6:バックル]のボタンを押して[5:ダング]を外し、[4:幼児ベルト]を広げる。

Cバックルがお子さまの股の間に収まるようにしてお子さまをシートの奥深くに座らせる。

▲おしゃりとクッションの間に隙間が出来ないように深く座らせて下さい。

A幼児ベルトの長さに余裕をもたせながら[1:ヘッドアジャスター]を上向きに引き、[2:ヘッドレスト]及び[4:幼児ベルト]の高さを調整します。

Bお子さまの肩と同じ高さか、やや低めから[4:幼児ベルト]が出る位置になるように[2:ヘッドレスト]高さを調整します。

▲工場出荷時は、一番下の位置にセットされています。

Aお子さまの体重 15～36kg以下 年齢のめやす 約3歳～11歳頃

ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルトでの固定

回転操作ができません。

ISOFIX取付け金具 + トップテザーでの固定

回転操作ができます。

ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルトでの固定

回転操作ができません。

後向き取付け



⑥ お子さまを拘束する

トップテザー 車両シートベルト

Aお子さまの両手を幼児ベルトに通し、二つの[5:ダング]を合わせバックルに差し込みます。「カチ」という音が聞こえればOKです。

B[8:アジャストベルト]を前に引くと、[4:幼児ベルト]を外します。[6:バックル]が固定されているかを確認します。

▲注意：肩ベルトをねじる、ゆるめる等しないようにしてください。

▲注意：肩ベルトカバーがお子さまの胸部に近くなるように調整してください。幼児ベルトバックル[6]に引っかけて車両の拘束のめやすとしてお子さまの鎖骨と幼児ベルトのバックルの間に指一本が入る程度。

トップテザー 車両シートベルト



⑦ (E) 拘束ポイントを確認する

トップテザー 車両シートベルト

A幼児ベルトを引っ張って、バックルや幼児ベルトがゆるまないか確認する。

B幼児ベルトが外れたりせずに、お子さまの肩の中央と腰骨のできるだけ低い位置を通っているか確認する。

●お子さまは必ず正しく拘束してください。正しく拘束していないと衝突時に重大な傷害を負う可能性があります。

●バックルに異物が詰まつたり、飲み物がかかると、ロックが確実にできなくなるなど故障の原因となります。

●お子さまの着席のたびに、必ずアジャストベルトを引く、お子さまを拘束してください。

●かさばる服を着せた状態で、本製品に座らせないでください。

●幼児ベルトをはずして結ぶなど、本紙に記載のやり方でお子さまを拘束しないでください。

トップテザー 車両シートベルト



⑧ お子さまを降ろす

トップテザー 車両シートベルト

A[7:アジャストラバー]奥側を押しながら、左右の[4:幼児ベルト]を手前に引く、ゆるめる。

B[6:バックル]の赤いボタンを押して[5:ダング]をはずし[4:幼児ベルト]を左右に開く。

Cお子さまの腕を[4:幼児ベルト]からはずし、お子さまを本製品から降ろす。

▲緊急時にバックルの赤いボタンを押しても、ダングがはずれない場合はベルトを切断してお子さまを救出してください。

トップテザー 車両シートベルト



⑩ (E) シートの取付け確認 車両シートベルトでの固定

ISOFIX接続表示が緑色になっていること。

②車両タングブレードと車両バックルが確実に接続されていること。

③車両シートベルトが青いタグ部分を通していく、ねじれやたるみがないこと。

▲①～④を確認して、しっかり取付けられていない場合は、再度取付けをやり直してください。

ISOFIX取付け金具 + 車両シートベルトでの固定

回転操作ができません。

お子さまの体重 9～18kg以下 年齢のめやす 約9ヶ月～4歳頃

ISOFIX取付け金具 + 前向き取付け

回転操作ができません。

▲トップテザーは絶対に使用しないで[12:トップテザーポケット]に収納してください。(トップテザーの収納 参照)

▲お子さまの体重が9kgを超えるまでは前向きで使用しないでください。

① 取付けの準備

A[7:アジャストラバー]奥側を押ししながら左右両方(2本)の[4:幼児ベルト]を同時に引き出し、背中のホックをはずして[18:肩ベルトカバー]から[4:幼児ベルト]をはずす。

B[6:バックル]を解除し、[3:肩ベルトカバー]から[4:幼児ベルト]を引き抜く。

C[5:ダング]と[4:幼児ベルト]を折りたんのん、左右の[25:シートカバー内袋]に入れる。

[3:肩ベルトカバー]は背もたれカバーと樹脂のすき間にぶら下げておく。

D肩ベルトの長さに余裕をもたせながら[1:ヘッドアジャスター]を上向きに引き、[2:ヘッドレスト]及び[4:幼児ベルト]の高さを調整する。

[4:幼児ベルト]の高さが肩よりも少し高くなるように、[2:ヘッドレスト]の位置を調整してください。

▲カチ」という音が聞こえればOKです。

E[8:アジャストベルト]を前に引くと、[4:幼児ベルト]が締まります。

注意：肩ベルトにねじれ、ゆるみ等がないようにしてください。

注意：[3:肩ベルトカバー]がお子さまの胸部に近くなるように調整してください。幼児ベルトの拘束のめやすとしてお子さまの鎖骨と幼児ベルトの間に指一本が入る程度。

▲取りはずし方 Bの操作[17:コネクタ解除ボタン][a]を強く押したまま、[15:コネクタ操作ハンドル][b]を押し[14:ISOFIXコネクタ]をスライドさせ引き出します。

C[15:コネクタ操作ハンドル]の赤い部分[17:コネクタ解除ボタン][a]を強く押したまま、[15:コネクタ操作ハンドル][b]を押し[14:ISOFIXコネクタ]をスライドさせ引き出します。

D ISOFIXコネクタの両端を[22:取付けガイド]に挿入してください。「カチ」という音がして[16:ISOFIX接続表示]が緑色になっているのを確認します。

Eチャイルドシートが車両シートの背もたれに密接するようにしてください。

▲取りはずし方 Bの操作[17:コネクタ解除ボタン][a]を強く押したまま、[15:コネクタ操作ハンドル][b]を押し[14:ISOFIXコネクタ]をスライドさせ引き出します。

C[15:コネクタ操作ハンドル]の赤い部分[17:コネクタ解除ボタン][a]を強く押したまま、[15:コネクタ操作